



《課題が見られた設問》

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 正答率：全国（県南） |
|------|--|------------------------------|----------------|
| 2一 | 面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているのかの説明として適切なものを選択する | 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する | 77.6 (70.1) |
| 2三 | 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く | 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける | 34.4 (33.3) |
| 2四 | 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。 | 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する | 29.7 (28.5) |

《力を入れた学習》

- ア 文章を読み、「何について」「どのように構成されているか」を把握する学習
- イ 目的に応じて、必要な情報を見付ける学習
- ウ 目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択、整理、再構成する学習
- エ 文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びついているかを考える学習
- オ 目的に応じて中心となる語や文を見付け、キーワードやキーセンテンスをもとに要約する学習

《普段の授業でこのような発問や活動を取り入れてみては？》

(1) 文章を初読したとき

この文章は、何についてどのように書かれているかな？
(高学年ならば「一文で説明するとどんな話？」でも可)



(2) 目的に応じて必要な情報を見付けさせたいとき



- ① ○○について書いてあるところはどこかな？指を指してみよう。
- ② ①で確認した一文を全員で音読してみよう！

(3) 文章と図表などを結び付け、必要な情報を見付けさせたいとき（教科横断的な視点から）

①

②

③

ア ペンチ イ ピンセット ウ せんぬき

【6年 理科 「てこの原理」の学習】

左の①～③の「てこ」の説明にはどの用具が使われているかな。ア～ウから選び、その理由について説明してみよう。また、その原理を使った他の用具を身近なところから探してみよう。



要点

2四の回答例を分析すると、①「中心となる語を見付ける」②「要約する」ことができている子どもは多いようです。さらに面ファスナーの「仕組み」を説明する力をつけるためには、**国語の授業だけでなく、理科や社会の授業で図や表について言語化することも重要です！！**



《課題が見られた設問》

| 問題番号 | 問題の概要 | 出題の趣旨 | 全国(県南)正答率 |
|------|---|-------------------------------|----------------|
| 3一 | 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する | 文脈の中における語句の意味を理解する | 43.7 (40.8) |
| 3四 | 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く | 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ | 20.5 (21.9) |
| 4三 | 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する | 相手や場に応じて敬語を適切に使う | 40.3 (39.7) |

《力を入りたい学習》

ア 語句や慣用句を文脈の中で理解するために他の言葉に置き換えたり、自分の体験と結びつけて事例を作成したりする学習

イ 観点を定めて文脈をたどり、叙述に基づき、登場人物の言動の意味を考える学習



【第1学年 「星の花が降るころに」での授業(白河市立東北中学校 授業実践から)】

(冒頭) 銀木犀の花は甘い香り、白く小さな星の形をしている。そして雪が降るように音もなく落ちてくる。去年の秋、夏実と二人で木の真下に立ち、花が散るのを長いこと見上げていた。気がつく、地面が白い星形でいっぱいになっていった。これじゃふめない、これじゃもう動けない、と夏実は幹に体を寄せ、二人で木に閉じ込められた、そう言って笑った。

(中略)

(終わり) 私は真下に立って銀木犀の木を見上げた。

かたむいた陽が葉っぱの間からちらちらと差し、半円球の宙にまたたく星みたいに光っていた。

ポケットからビニール袋を取り出した。花びらは小さく縮んで、もう色がすっかりあせている。

袋の口を開けて、星形の花を土の上にはらばらと落とした。

ここでいつかまた夏実と花を拾える日が来るかもしれない。それとも違うだけか？ 拾うかもしれない。あるいはそんなことはもうしないかもしれない。どちらだ？ いい。大丈夫、きつとなんとかやっつけていける。

私は銀木犀の木の下をくぐって出た。

【光村図書 「星の花が降るころに」より】

(1) 難語句の意味を調べる学習 + 「同義文」や「具体例」を生成する学習

- ① 「あせる」を違う言葉で言い換えると？ (同義文)
- ② 「色あせるもの」の具体例を挙げると？ (具体例同定)

読解力や語彙力を高めるためにリーディングスキルの視点で生徒に問いかけを！！



(2) 観点を定めて文脈をたどり、叙述に基づき、登場人物の言動の意味を考える学習

物語の中に度々出てくる「銀木犀」は主人公にとって何を表すものかな (象徴)。前半と後半を読み比べて、主人公の変化と「銀木犀」の描かれ方を考えてみよう。

〈生徒回答例〉

銀木犀は、私の成長のハードルなのだと思います。前半では「二人で木に閉じ込められた、そう言って笑った」とあるので、夏実と二人で楽しそうだけど、二人でないと越えられない感じがします。後半では夏実と仲直りしてもしなくても「私一人でなんとかやっつけていける」という気持ちを確認するために「銀木犀の木の下をくぐって出た」のだと思います。



文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりする場の設定が重要！！